

集合写真でガッツポーズをするマツゲン箕島ナインら—有田市役所で



有田背負い 初勝利へ

マツゲン社行会 活躍誓う

社会人野球 日本選手権

第50回社会人野球日本選手権大会(毎日新聞社、日本野球連盟主催)に出場するマツゲン箕島硬式野球部(本拠地・有田市)の選手、スタッフが22日、市役所であった社行会に出席し、大舞台での活躍を誓った。

マツゲン箕島は県内唯一の社会人硬式野球チーム。9月の全日本クラブ野球選手権大会を制し、今秋の日本選手権に2大会連続8回目の出場を決めた。大会初勝利を目指す。

式にはチームから西川忠宏監督をはじめスタッフ、選手ら約40人

が出席。市側は約50人が出迎え、玉木久登市長が「悔いのないプレーをしてほしい」と激励すると、宮崎航太主将は「皆さんの思い、有田市を背負って全力でプレーしていきます」

と応えた。市職員有志で作る応援団が「フレ、フレ」のコールでエールを送った。日本選手権は28日、大阪市西区の京セラドーム大阪で開幕し、マツゲン箕島は同日午前10時からの1回戦で東京ガス(東京都)と対戦する。【藤木俊治】